

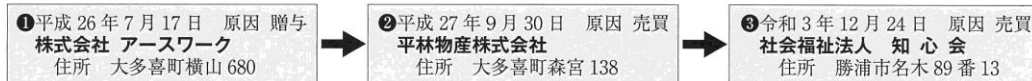
疑惑の眼

麻生政経塾 行革 110 番チームが オカシナ土地取引の実体を暴く！

大多喜町に特別養護老人ホームが建つと言う。
場所は大多喜町営住宅田丁団地の道をはさんで隣奥地だと言う。
高齢化社会である今日、老人ホームは必要である。この事に異論をはさむ余地はない。
その場所とは**大多喜町猿稻字神明下 310 番 1**である。



所有権の動きを見よう。



この土地に担保権が設定されていた。

債務者(株)アースワーク

根抵当権者 銚子信用金庫

根抵当権設定である。

||

||

平成 27 年 2 月 23 日 極度額 金 1200 万円

お金を借りている者

お金を貸した者

尚、根抵当権抹消は、平成 27 年 10 月 1 日に行なわれていた。

一連の流れを追ってみると、

(株)アースワーク所有の土地を 1 年数ヶ月後に平林物産(株)が買っている。そして 6 年数ヶ月後に社会福祉法人 知心会に売り渡している。

(株)アースワークは土地を平林物産(株)に売って根抵当権を銚子信用金庫が直ちに解除している。借入金が弁済されたと思われる。

その後、社会福祉法人 知心会が平林物産(株)より土地を購入して特別養護老人ホームを建設すると言う。現場をみてみよう。

地元の方によれば、荒地である。

水害の可能性もある。とても普通の考えでは好きこのんで求める土地ではないそうだ。

それが、いずれ近い将来老人ホームなどへの建設が可能な土地だったら、どうだろうか。

将来、利用価値のある土地に変身するとしたらどうだろうか。

その事を一早く知っている人のみが、その情報に基づいて、利益を共有するとしたら果たしてどうだろうか。

大多喜町に特別養護老人ホームが出来ることには、異論をはさむ余地はない。

しかし、特定の人が一連の土地を転がしながら、あるいは一早く情報を知って動いているとしたらどうだろうか。

ただ単なる不動産取引引きと言えないのではないのか。この事は果たして道義的に許されるものだろうか。

一種のインサイダー取引と疑われるのではないのか。

このような事が今日、行われていいのだろうか。

はなはだ疑問である。

以上は、法務局の誰もが閲覧出来る情報から調べたものである。

あ そう せい けい じゅく
麻生政経塾
(旧エビスヤ)

住所 〒298-0215 大多喜町久保 43

電話 0470-82-2011

U R L <http://t-asou.com/sp/>

E-mail info@t-asou.com

